

好決算が相次ぐ半導体関連企業

世界半導体関連フォーカスファンド 追加型投信/内外/株式

- ▶ 当ファンドは主要な投資対象である「Next Generation Semiconductor Fund(円建て、ヘッジなしクラス)」(以下投資先ファンド)への投資を通じて日本を含めた世界中の半導体関連企業に投資を行っています。
- ▶ 本レポートでは、半導体関連企業の株価動向と、昨年10-12月期の主要な半導体関連企業の決算内容について簡単にご説明致します。



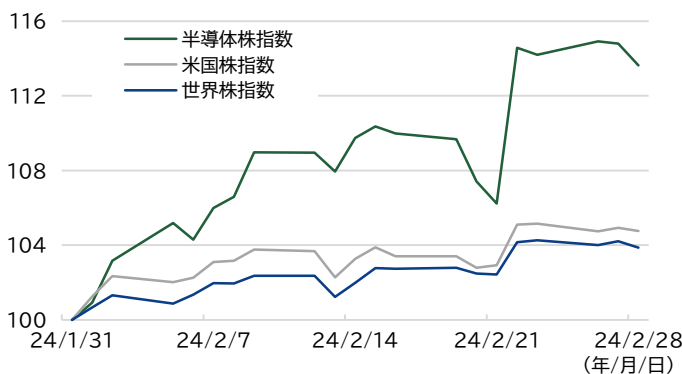
足元の半導体関連銘柄の動向について

生成AI(人工知能)の技術進化とその普及が急速に進むとの観測の下、米国のテクノロジー関連株を中心に株価は上昇基調を辿っています。

また、決算発表が相次ぐ中、2月21日には生成AIに使われる画像処理半導体(GPU)大手のエヌビディアが決算を発表しました。第4四半期(2023年11月-24年1月)実績、第1四半期(2024年2-4月)見通しともに、市場予想を上回る良好な発表内容であったことを受けて、同社株を含めた半導体関連企業の株価は上昇しました。その後も当ファンドが投資する半導体関連企業の株価も概ね上昇基調にあります。

図表1 足元の主要株価指数の推移

(期間 2024年1月31日~2024年2月28日、日次、配当込み)



※2024年1月31日を100として指数化

(出所)Bloombergデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

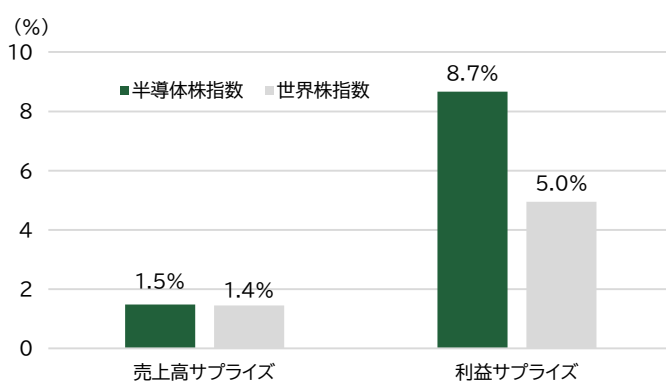


好調な半導体関連企業の決算

2024年最初の決算シーズンが始まり、各企業の2023年第4四半期決算が発表される中、半導体関連企業の決算は好調に推移しています。

半導体関連企業と世界株式全体の売上高サプライズ及び利益サプライズ(決算の市場予想に対する実績値の乖離)を比較すると、半導体関連企業の利益サプライズが特に大きくなっています。これは、堅調な受注を背景に、半導体企業の価格決定力が強くなっていることを示唆していると言えます。

図表2 各指数構成銘柄の売上高サプライズ、利益サプライズ



※2024年1月末時点の各指数構成銘柄について2024年2月19日時点の直近決算を元に集計。

(出所)ニューバーク・パーマンのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

* MSCI指数はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

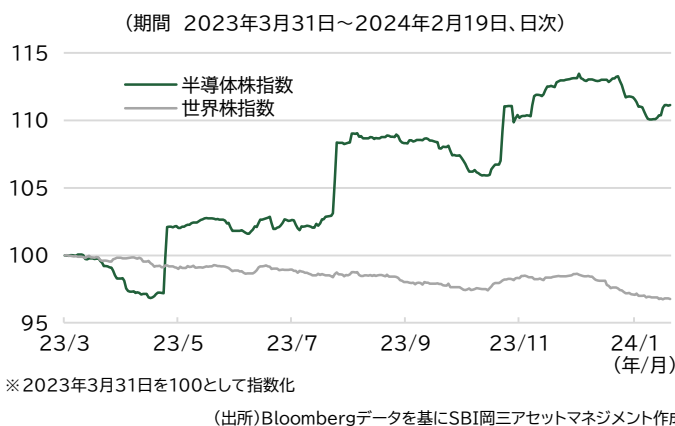
※世界株はMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス、米国株はS&P500種指数、半導体株はMSCIオール・カンントリー・ワールド・半導体・半導体製造装置インデックスを使用。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

加えて、半導体関連企業においては、業績ガイダンスが堅調なことにより、決算シーズンを経るたびに利益予想の上方修正が続いています。グローバル株式全体の業績予想が決算を経るに従い現実的な水準に下方修正されている傾向と比較すると、半導体関連企業の業績見通しは非常に明るいものとなっています。

図表3 各指数構成銘柄の2024年度予想EPS推移

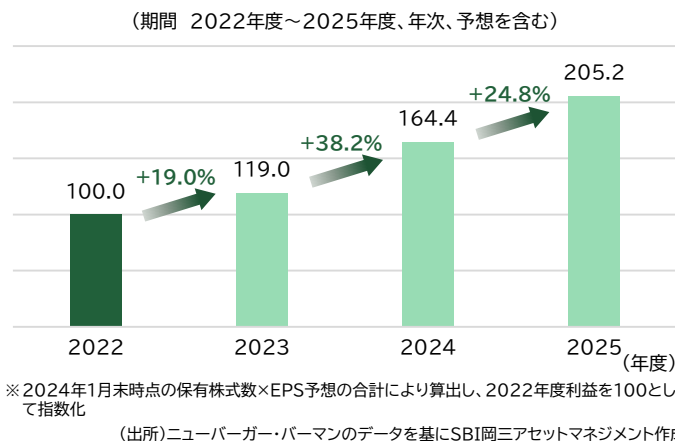


良好な決算を発表した当ファンドの半導体関連企業

当ファンド組入銘柄の決算発表

このような環境下、当ファンドが組入れている銘柄も堅調な利益成長が予想されており、今後も業績拡大に沿った堅調な株価パフォーマンスを予想しています。(図表4)

図表4 当ファンド組入銘柄の利益成長予想



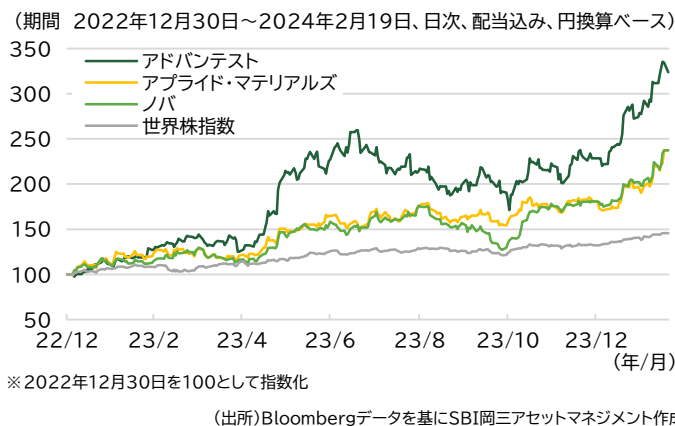
良好な決算を発表した主な組入銘柄

ノバ(イスラエル)は、半導体製造に必要なモニタリング機器や測定器を提供する企業です。AI向け半導体需要増加により、次世代メモリや先端パッケージング向けの売上が拡大したことで、市場予想を上回る決算を発表しました。

アプライド・マテリアルズ(米国)は、幅広い半導体製造装置を手掛け、次世代トランジスタや先端パッケージング向けの装置でも業界をリードしています。中国政府が半導体産業への投資に力を入れていることを背景とするメモリ半導体製造装置への積極的な投資により、中国からのメモリ向け装置需要が大幅増加し、市場予想を上回る決算を発表しました。

アドバンテスト(日本)は、様々な半導体に対応したテストソリューションを提供する企業です。AI向け半導体の需要増加により、メモリ向け検査装置の売上が増加し、市場予想を上回る決算を発表しました。

図表5 好決算銘柄の株価推移



* 上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇および投資先ファンドへの組入れを保証するものではありません。

※世界株はMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス、半導体株はMSCIオール・カンントリー・ワールド・半導体・半導体製造装置インデックスを使用。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込み当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

留意事項

【SBI岡三アセットマネジメントについて】

商号:SBI岡三アセットマネジメント株式会社

SBI岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長(金商)第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。ファンドは、国内外の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「特定の業種・テーマへの集中投資に係るリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」があります。その他の変動要因としては「カントリーリスク」があります。
- ※ 基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
 - 投資信託は預金商品、保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。投資信託の設定・運用は投資信託委託会社が行います。
 - ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
 - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。
 - 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
 - 購入時手数料 : 購入金額(購入価額×購入口数)×上限3.3%(税抜3.0%)
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料 : ありません。
 - 信託財産留保額 : ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
 - 運用管理費用(信託報酬)
 - : 純資産総額×年率1.298%(税抜1.18%)
 - 運用管理費用(信託報酬)の実質的な負担
 - : 純資産総額×年率1.948%程度
 - 実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。
 - なお、実質的な運用管理費用(信託報酬)は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
- その他費用・手数料
 - 監査費用 : 純資産総額×年率0.0132%(税抜0.012%)
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を投資信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等を間接的にご負担いただきます。(監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社一覧

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。
なお、販売会社には取次販売会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
岩井コスモ証券株式会社	近畿財務局長(金商)第15号	○	○	○	
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
FFG証券株式会社	福岡財務支局長(金商)第5号	○			○
香川証券株式会社	四国財務局長(金商)第3号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○	○		
大熊本証券株式会社	九州財務局長(金商)第1号	○			
中銀証券株式会社	中国財務局長(金商)第6号	○			
東洋証券株式会社	関東財務局長(金商)第121号	○			○
南都まほろば証券株式会社	近畿財務局長(金商)第25号	○			
水戸証券株式会社	関東財務局長(金商)第181号	○	○		
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	○			
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○
(登録金融機関)					
株式会社中国銀行	中国財務局長(登金)第2号	○		○	

※岡三証券株式会社は、一般社団法人日本暗号資産取引業協会にも加入しております。

<本資料に関するお問合わせ先>

フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)